

# 人命・財産を守った砂防堰堤 (大島郡龍郷町 屋仁川)

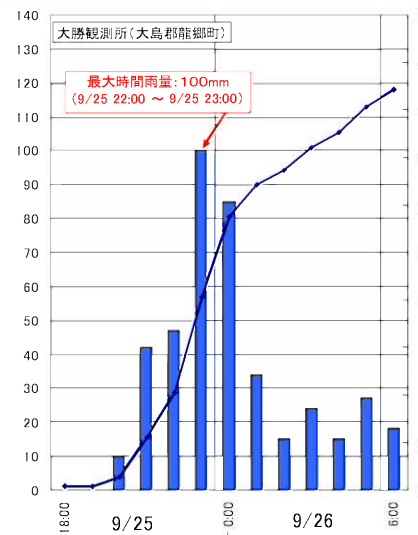
おおしまぐん たつごうちょう やにがわ

大島郡龍郷町の屋仁川では、平成23年9月25日の夜、上流域での山腹崩壊により土石流が発生しましたが、既設砂防堰堤(高さ約12m)により、約4千m<sup>3</sup>の土砂や流木を捕捉しました。砂防堰堤の水抜き穴から流出した一部の土砂や、下流の溪岸侵食によって発生した土砂が流路を埋塞するなどしたものの、砂防堰堤の効果により、下流の集落は土石流の直撃を免れ、家屋全壊や人命損失などの甚大な被害を回避することができました。

山腹崩壊により土石流が発生!

土石流捕捉後の既設砂防堰堤

雨量グラフ



流木の捕捉状況



被害想定区域

土砂の捕捉状況

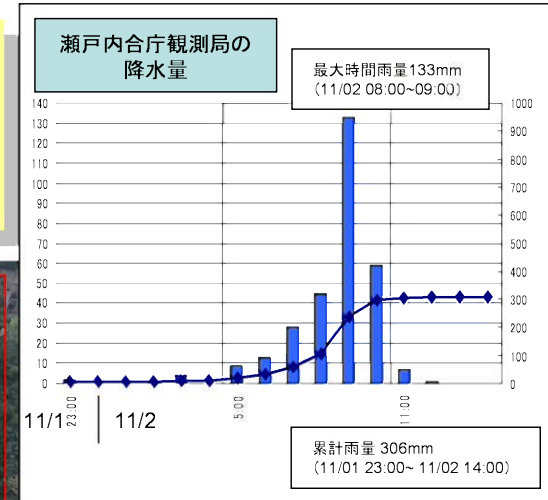


「被害想定区域」は、砂防堰堤が無かった場合に、土石流が到達する恐れがあった範囲を表しています。

屋仁川の「被害想定区域」内には、住家21戸や町道などがあります。

# 土石流から集落を守った砂防堰堤 (瀬戸内町 瀬久井小川)

平成23年11月2日の朝、瀬久井小川において、砂防堰堤の左岸袖部の上部斜面で山腹崩壊が発生し、約3千m<sup>3</sup>の土砂が流出しましたが、既設砂防堰堤(高さ約10m)により、崩壊土砂量の3分の2にあたる約2千m<sup>3</sup>の土砂や流木を捕捉しました。一部流出した土砂や泥流により、家屋の床下浸水被害等があったものの、下流の集落は土石流の直撃を免れ、家屋の全壊や犠牲者が出るなどの甚大な被害の発生を免れることができました。



「被害想定区域」は、砂防堰堤が無かった場合に、土石流が到達する恐れがある範囲を表しています。

瀬久井小川の「被害想定区域」内には、住家35戸や町道などがあります。